



山梨県立 甲府南高等学校



5階建ての校舎、2階建ての体育館など充実した学習環境

所在地 〒400-0854 甲府市中小河原町 222 番地
 電話 055-241-3191
 FAX 055-241-3145
 URL <https://www.kofuminami-h.ed.jp>
 E-mail nanko@kofuminami-h.ed.jp
 創立 昭和38年4月1日
 課程 全日制
 利用交通機関 JR身延線 甲斐住吉駅より徒歩12分
 山梨交通バス 甲府南高校前(学校入口)
 教員数 54名
 生徒数 820名

学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	117	105	138	98	131	111
理数科	24	16	27	13	27	13

脈々と受け継がれる『開拓者精神』

本校は創立56年目を迎え、総合選抜制度による入試、専門教育学科理数科の設置、全県一学区による入試や理数クラスの設置など、数々の変遷を重ねてきました。創立時より『開拓者精神』を校訓とし、今なおその精神は脈々と受け継がれています。卒業生は1万9千名を数え、多くの先輩が各界のリーダーとして県内外や国内外の幅広い分野で活躍しています。

「真・善・美」を求め、常に新しいこと、困難なことに挑戦しようとする進取の気性に満ちた自由で伸び伸びとした校風と、品性を重んじる学究的で落ち着いた雰囲気とを併せ持ち、社会に貢献できる人材育成を目標としている学校です。普通科と理数科、両科の生徒が互いに切磋琢磨することで文・理双方で輝かしい進路実績を築いています。

部活動も盛んで、入部率は高く、多くの生徒が個性を活かすとともに、自己の可能性を求め続けています。学園祭を中心とした生徒会活動や部活動単位でのボランティア活動も、主体的かつ活発に行われています。

また、これまでの教育実践、進路実績、恵まれた教育環境などが高く評価され、平成16年度からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、4期目となりました。興味深い学校設定科目があり、他校では経験できない校外研修や公開講演会などが行われています。

本校では、こうした諸活動を通して大局観や総合的判断力を養い、自己の持つ能力やエネルギーを他人や社会のために活かせる真のエリート育成をめざしています。

【普通科】学力の充実と進路実現

1年次は、選択の芸術科目以外は全員が同一科目を学習します。2年次以降は、文系・理系の進路希望に応じた選択科目が多く配置され、進路実現をサポートできるカリキュラムになっています。また、数学や英語など多くの科目で少人数学習を実施して学習効果の向上を図り、難関大学にも対応できる学力の習得を目指します。

（普通科理数クラス）理数系に重点を置いたクラス

普通科の中に、理数クラスを設置しています。理数科と同じ学習内容の授業を展開しており、理数科と同様に3年間固定クラスで、高いレベルでの論理的・科学的思考力を養います。2・3年次には文系希望の生徒にも対応した選択科目を用意し、社会や郷土の発展にも寄与できる総合力のある人材の育成を目指します。

【理数科】未来のエキスパートを目指して

理数系の教科に興味・関心が強く、将来、理学・医学・工学などの分野に進みたいと考えている生徒、実験や演習を通して目の前の事象を論理的・科学的に捉えていきたいと考えている生徒に適した学科です。2・3年次には文系を希望する生徒のための選択科目も用意して、文理問わず一人ひとりの進路希望に柔軟に対応できる教育課程を編成し、将来の各界を担うリーダーの育成を目指します。

教育課程	普通科	共通科目：国語総合、現代文B、古典B、世界史A、現代社会、数学、数学A B、物理基礎、化学基礎、生物基礎、体育、保健、コミュニケーション英語、英語表現、サイエンスリサーチ、家庭基礎、ボランティア探究 選択科目：文系・理系に応じて、22科目の中から文系は5科目、理系は6または7科目を選択
	理数クラス 理数科	共通科目：普通科科目に加え、数・理は授業時間数を増やした専門性の高いSS数学、SS数学特論、SS物理、SS化学、SS生物などの学校設定科目を履修 選択科目：文系・理系に応じて、21科目の中から文系は8科目、理系は7科目を選択

教育方針

将来、日本や国際社会の様々な分野で活躍し、社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。

教育目標

校訓『開拓者精神』のもと、

- 1 真理を求め、高き理想を掲げ、真摯に学ぶ生徒を育てる。
- 2 善なるものを求め、自他を敬愛し、品性を磨く生徒を育てる。
- 3 美しきものを愛し、心身を鍛練し、新たな自己を拓く生徒を育てる。



SSH (スーパーサイエンスハイスクール)

本校は平成16年度から第1期(3年)、平成19年度から第2期(5年)、平成24年度から第3期(5年)、平成29年度から第4期(5年)のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)として文部科学省からの指定を受け、理数系教育の地域拠点校としての役割を期待されています。



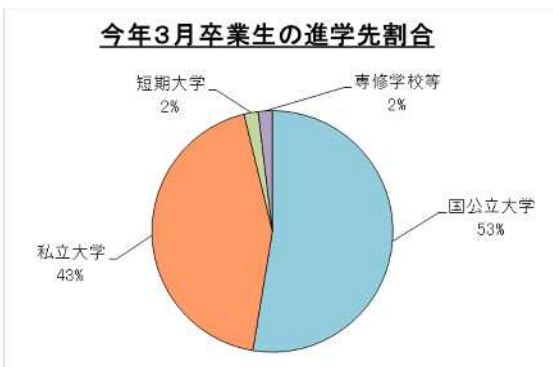
～平成29年度SSH海外研修～
(ヨセミテ国立公園)

SSHは、未来を担う科学技術系の人材を育てることをねらいとした理数系教育の充実を図る取り組みです。大学や研究機関と連携して、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習を進め、生徒全員が課題研究に取り組みます。そして、その学習過程を記録に残し、進学先へのスムーズな接続を提供します。

本校では、実習・体験・交流を多く取り入れ、学校設定科目の授業や校外研修への参加や最先端の技術や研究に触れる機会を設け、生徒の科学への興味・関心を高めるとともに、国際社会で活躍できる人材の育成に通じるプログラムの研究開発を行っています。

本校の教育が生み出す進路実績

入学した生徒が卒業するまでの間に受けるきめ細やかな指導とそれに応える生徒の活動が本校の教育の原点です。その柱として「授業」「面談」「学習環境」「キャリア教育」の充実を掲げています。最終進学先は下記のグラフ



のように、多くの生徒が自ら希望する進学先に進んでいます。

また、東京大学や国公立大学医学部をはじめ難関大といわれる大学に多くの合格者を出しております。平成30年3月卒業生の実績の概要を以下に示します。

国公立大学：北海道大(1)、東北大(6)、埼玉大(4)、千葉大(3)、電気通信大(1)、東京大(8)、東京学芸大(2)、東京外国語大(1)、横浜国立大(3)、新潟大(2)、富山大(2)、金沢大(2)、山梨大(40)、信州大(3)、岐阜大(4)、静岡大(5)、名古屋大(1)、京都大(4)、大阪大(1)、九州大(3)、首都大東京(2)、山梨県立大(8)、都留文科大(7)等 計134名
私立大学：青山学院大(3)、慶応義塾大(4)、駒澤大(2)、芝浦工大(9)、上智大(2)、専修大(2)、東京理科大(9)、東京薬科大(5)、東洋大(4)、日本大(14)、法政大(8)、明治大(12)、早稲田大(7)、同志社大(1)、神奈川大(11)、山梨学院大(19)、山梨英和大(4)、健康科学大(7)等 計301名

活発な生徒会活動

本校には運動部、文化部がそれぞれ20部と同好会が1つあり、どれも活発に活動し県内外の大会で好成績をあげています。昨年度はソフトテニス男女、剣道女子、卓球男子、放送、音楽、管弦楽、書道、文芸、物質化学が全国大会に出場したのをはじめ、陸上、ソフトテニス男女、剣道男女、卓球男子、放送、演劇、生命科学、音楽が関東大会に出場しました。また、剣道部男女・ソフトテニス部男子は県の強化指定部として実績をあげています。

大きな生徒会行事には、6月の緑陽祭、12月の歌声コンクール、3月の吹奏楽・音楽・箏曲・管弦楽・軽音楽の5部合同の南高音楽祭などがあり、生徒達の情熱あふれる催しとなっています。



また、全校生徒がボランティア活動に参加していこうという「ボランティア1000回運動」を展開しています。ボランティア体験を通じて、社会に貢献する意識を育て、自らを高めていこうと意欲的に取り組んでいます。

主な年間行事

- 4月 入学式、実力試験
- 5月 高校総体、公開授業、生徒懇談、第1回定期試験
- 6月 緑陽祭
- 7月 第2回定期試験、三者懇談
夏季休業 夏季講座、各種学習会、各部合宿
- 8月 実力試験
- 9月 オープンキャンパス、理数科説明会
- 10月 第3回定期試験、教養講演会、公開授業、新人戦
三者懇談
- 11月 芸文祭、第4回定期試験
- 12月 修学旅行、歌声コンクール
- 1月 スキー教室、生徒懇談
- 2月 SSH研究発表会、第5回定期試験
- 3月 卒業式、球技大会、SSH海外研修、南高音楽祭